

# 小笠原先生の奈良・古代史講座のご案内

主 催 奈良歴史遺産市民ネットワーク

事務局 〒630-8306 奈良市紀寺町883-4

TEL・fax 0742-23-3934 小宮みち江

講 師

**小笠原好彦氏** 滋賀大学名誉教授・文化財保存全国協議会代表委員

講座会場

奈良県教育会館

開講13時30分(開場13時) (奈良県文化会館西隣 近鉄奈良駅より徒歩5分)

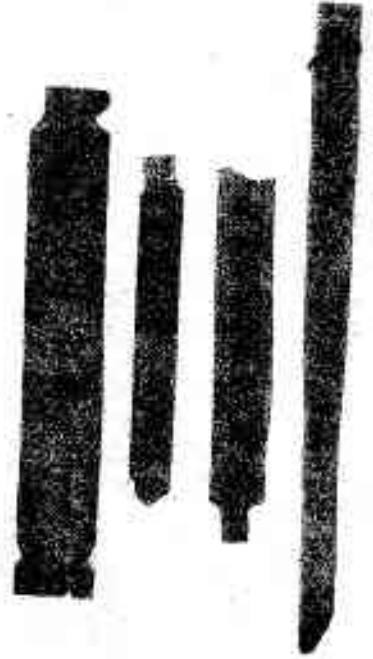
参加資料代

500円

5月14日(火)

《古代の地方官衙の運営と郡符木簡<sup>ぐんぶ</sup>》

日本の古代国家は、中央官衙と地方官衙によって国家を運営していました。近年は、これまでは中央官衙が出す通達などに加えて、地方官衙の郡衙(群家)が命じた群符木簡が各地で出土しており、より古代の政務の実態が明らかになってきています。今回は、群符木簡などによる地方行政を考えてみます。



6月11日(火)

《平城宮の諸官衙での饗膳<sup>きやうぜん</sup>に使われた土器》

古代の中央官衙である平城宮跡からは、大量の土師器・須恵器が出土しています。これらは諸官衙での供膳や饗宴に使用されたものです。これらの官人が使用した土師器・須恵器の実態とこれらの土器を供給する体制を少し考えてみます。

7月9日(火)

《天平宝字6年の石山寺造営と田上山作所<sup>たなかみさんさくじょ</sup>》

近江保良宮・京への遷都に伴って、石山寺で写経するため、石山寺の大増改築工事がおこなわれました。この造営に必要なと大量の木材は、主として南の田上山に山作所を設けて木材を伐採し、製材して運びました。その田上山作所の作業実態を正倉院文書によって検討してみます。



§ 8月は休講です §

※ 感染症予防にご協力をおねがいたします ※

☆☆☆ 事前の申し込みは要りません。どなたでも参加できます ☆☆☆